

東北工業大学八木山キャンパス新棟整備計画

東北工業大学は、八木山キャンパス内の4つの老朽建物の建替えを中心とした整備基本計画（マスタープラン）を作成し、2021年4月に最初の建物、「実験・教育棟」の建設に着手致します。

実験・教育棟イメージパース



『人・活動をつなぐ「知（地）の杜」東北工業大学』

以下に5つのキャンパス全体計画の基本コンセプトを定め、『人・活動をつなぐ「知（地）の杜」東北工業大学』を実現させます。

- ①人・活動・知をつなぐ『コモンサークル』
- ②居場所となり交流を生む『tohtech SPOT』『tohtech COMMON』
- ③学科の領域を超え新しい価値を生む機能別の棟構成
- ④将来を見据えた八木山キャンパス全体構想
- ⑤新棟建て替えを研究材料とするチャレンジラーニングプロジェクト

『実験・教育棟の計画方針』

実験・教育棟には、水質化学系、電気電子・情報通信・物理系、材料構造系、水理系の各実験室・教室等を配置し、高度な工学研究・教育を実施する大学を実現すべく、利便性、容易性、信頼性、経済性及び環境性などの要素に配慮し、機能維持、運用支援、環境配慮を重視した計画とします。

また、大学施設に係わる様々な人々（学生・教職員など）に対して、快適な研究・教育環境の維持や機能支援を行うとともに、社会的ニーズでもある地球環境の維持の観点から省エネルギーや省資源化などの環境負荷低減に努める計画とします。

更に実験・教育施設という重要性から、機器やシステムの安全性・信頼性に留意した空調換気設備計画などを行います。



【工事概要】

構造種別	S造 地上4階
建築面積	2,195.13㎡
延床面積	6,370.33㎡
建築期間	2021年4月着工 2022年9月竣工予定